



桜並木学園
つくば市立並木小学校だより

未来へ

NO. 37
令和3年1月19日(火)



今、求められている力とは？

16日(土)、17日(日)に大学入学共通試験が行われました。いくつかの資料等が関連付けられて出題されているなど、今年から新たな形で行われ、読解力、思考力、判断力、表現力等が重視されています。これは既に小中学校で行われている全国学力・学習状況調査や茨城県の学力診断のためのテストなどと同様の考え方で作られた試験問題になっています。多くの情報があふれているこの時代、知識の暗記だけでなく、何が正しいのか、比較・関連付けて課題を見付け、自分で考え解決する力が必要とされ求められています。このため試験の問題文の分量はかなり増えています。全国学・学調査も同様で、「長文に慣れていない子は、問題文の量を見ただけでも気絶しちゃう。」という冗談話がありますが、今回、私は新聞の問題文の小さい文字を見ただけで戦意喪失でした。

「給食を残さずに食べていますか？」

毎月配付される給食の献立表の裏面に「給食だより」が載っています。

今月は「給食を残さずに食べていますか？」という見出しで『令和元年度食生活に関する調査』(市内5年・8年生、地区ごとに抽出実施)の結果などが書かれています。これによると、「給食を残さず食べる」児童生徒は5年生も8年生も4割以下でした。

「そんなに残しているの?」と思い、給食の片付けの頃の様子を見て回りました。先生方からも話を聞いてみると、「メニューにもよるけれど、完食するのは、だいたい半分ぐらい。」という話で、「なるほど、そうかあ、うちもそんな感じだなあ。」

給食は残さず食べさせたいものですが、アレルギーなどでその子によって食べられないものもあるし、無理強いするのもかわいそうだし…。

日本では毎日たくさんの食物が廃棄されています。「食物をバランスよく食べることが健康につながる。」「食べているものが自分の体を作っている。」「食べ物を大切に使う。」誰でも分かっていることを自分の事として理解して実践できるようにしたいものです。もちろん、「いつも完食です!」という子もいます。食わず嫌いもあるのでは?「せめて、一口食べてみたら!?。」【今日の給食=バターパン、エビグラタン、れんこんとみずなのサラダ、鶏肉のメキシコに】完食したかな?



「学校教育に関するアンケート」 ご協力ありがとうございました。

今年は新型コロナウイルス感染症により、例年とは違った対応になることが多く、学校としても試行錯誤を続ける毎日です。同じ事柄に対しても様々なお考えがあり、改めて保護者の皆様のご意見を広く聴くことの大切さを感じています。年末の気忙しい時期に協力していただき感謝いたします。

アンケートの結果では、概ね肯定的な評価をいただいていると捉えております。少数のご意見にも十分に耳を傾けたいと考えています。

自由記述の欄には、たくさんのご意見をいただきました。学校の取組について、肯定的に捉えていただいたり認めていただいたりするご意見はとても励みになります。さらには「働き方改革を」と言われる職員に対して、ねぎらいの言葉や体調についてのご心配もいただきました。また、ご指摘とともにアイデアや建設的な提案もいただきました。今後の教育活動の参考にさせていただきます。個別のご意見については、詳細を確認したり、お考えを十分にお聞かせいただきたいと考えていますので、ぜひ、担任または教頭までご連絡をください。

こうやってご意見をいただくと、学校では気付かなかったことが分かってきます。ありがとうございます。全てのご意見やご要望に沿うことは難しいですが、子供たちのために現状でできることを精いっぱい行ってまいります。

冬休みにはお子さんと話して、さらに学校の様子を感じていただけたでしょうか? 気になることがありましたら、その都度、ご連絡ください。保護者の皆様との連携を深める機会としたいと考えています。アンケート結果は後日改めて紹介します。

